



9 年ぶり2回目の個展を、6月16日から20日まで、役場ロビーで「いつぱい、いつぱい俺の道」と題して開きました。

自宅周辺の草花や野菜などを題材に、水彩色えんぴつを使って独特のタッチで描いた60点の作品を展示しました。

1996年に脳出血で倒れ、右半身まひと失語症の後遺症が



## 左手一本で描いた水彩画の個展を開く

三浦孝志さん (虻6区・67歳)

残る中で、絵と出会ったのは2000年の有珠山噴火。避難所生活を余儀なくされ、不安定な気持ちを紛らすため、リハビリを兼ねて自ら筆を持つことになり、今では生活の多くの部分を占めるまでに至りました。2005年6月に第1回の作品展を、描き上げた約150点中から80点ほど選び役場ロビーで展示しました。

現在では、障がいと闘いながら、週2回の製作活動を行い、作品は、500点ほどに増えました。

妻の優子さんは「絵との出会いが一生の宝となりました。これからもずっと続けていつてほしい」と話します。今回の作品展では、友人、知人が多く来場し、久しぶりの再会などもあり、また一つ「人との出会い」という宝物を手に入れました。



## 気象台からの防災メモ

室蘭地方気象台 ☎0143-22-3227

気象台は平成25年8月30日から「特別警報」の発表を開始しました。

「特別警報」とは、現在の警報発表基準をはるかに超える大雨や暴風、地震、津波、火山噴火等により、重大な災害の起こる危険性が著しく高まっていることをお知らせし、最大級の警戒を呼びかけるものです。

「特別警報」発表時は、数十年に一度しかない大雨や暴風等により、重大な危険が差し迫った異常事態です。直ちに地元市町村の避難指示・勧告等に従って、避難所へ避難するか、既に外出が危険な場合には、屋内の2階などより安全な場所への退避等、

身を守るために最善を尽くしてください。

また、重大な災害のおそれがある場合には、従来の「警報」を発表しますので、早め早めの防災対応が重要になります。

「特別警報」の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。



<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>

## 広 告



救急は、24時間  
対応しています。



洞爺協会病院 ☎74-2555